

平成30年3月28日

2月分の電力需給実績について

1. 電力需要について（表 - 1 参照）

2月分の販売電力量の合計は、68億9,800万kWh、対前年比99.8%となり、前年に比べ気温が低かったことにより暖房需要が増加した一方で、契約電力が減少したことなどから、前年並みの実績となりました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

電灯

電灯は、前年に比べ気温が低かったことによる暖房需要の増加などから、対前年比103.2%と前年実績を上回りました。

電力

電力は、前年に比べ気温が低かったことによる暖房需要の増加があるものの、契約電力の減少などから、対前年比97.8%と前年実績を下回りました。

（表 - 1：販売電力量）

（単位：百万kWh、%）

区分	当月実績 (A)	前年実績 (B)	前年比 (A/B)
電灯	2,646	2,564	103.2
電力	4,252	4,347	97.8
合計	6,898	6,910	99.8

個々の数値の合計と合計欄の数値は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

2. 供給力について（表 - 2 参照）

2月の発受電電力量の合計は、72億1,900万kWh、対前年比100.7%の実績となり、前年実績を上回りました。

（自社水力）

出水率89.2%の湯水となったことから、発電量は前年を3,800万kWh下回る4億9,100万kWhとなりました。

（自社火力）

運転状況の違いなどから、発電量は前年を4億7,400万kWh上回る5億5,400万kWhとなりました。

（自社原子力）

定期検査により、女川原子力発電所の全号機と東通原子力発電所1号機が運転を停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の運転状況の違いなどから、発電量は前年を400万kWh上回る7,700万kWhとなりました。

（他社受電）

他社発電所の運転状況の違いなどから、他社受電合計では、前年を2,700万kWh下回る18億kWhとなりました。

(表 - 2 : 発受電電力量)

(単位：百万kWh、%)

区 分		当 月 実 績 (A)	前 年 実 績 (B)	前 年 差 (A-B)	前 年 比 (A/B)	
自 社	水 力	自 流 式	446	478	-32	93.3
		貯・揚水式	45	51	-6	88.1
		計	491	529	-38	92.8
	火 力	5,540	5,066	474	109.4	
	原 子 力	0	0	0	-	
	新エネルギー 等	77	73	4	104.9	
	合 計	6,108	5,668	440	107.8	
他 社 受 電		1,800	1,827	-27	98.5	
融 通		-680	-323	-357	210.2	
揚水用動力		-9	-1	-8	-	
発受電合計		7,219	7,171	48	100.7	
出 水 率		89.2	106.9	-17.7	-	

新電力に対するインバランスなど未確定値を含みます。

以 上